

Matrix Type Display System and Its Operating Method

Laid Open: No. 7-199856 dated Aug. 4, 1995

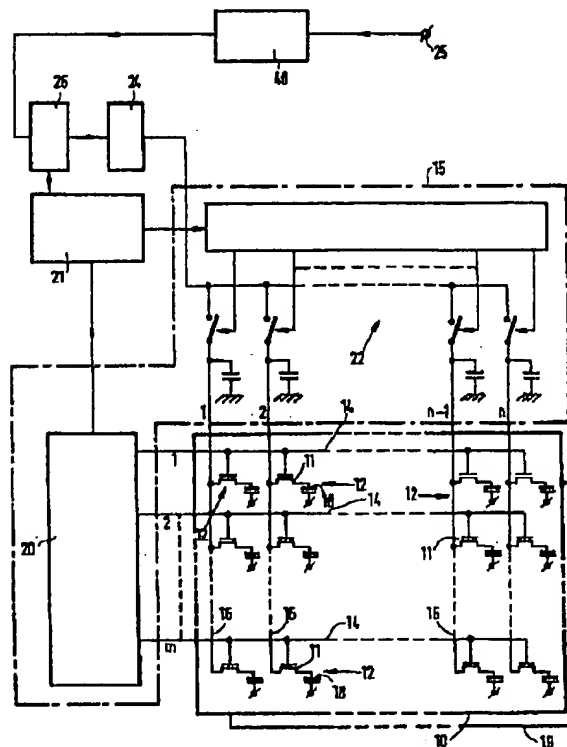
Patent Application No. JP6-306433P

Filing Date: Dec. 9, 1994

Applicant: Philips Electronics N.V.

Object: To disclose the matrix type display system and its operating Method

Composition: In matrix type display system displaying moving pictures like television images, using a time-lingering type display panel (10) such as an active type matrix liquid crystal display panel, and having matrix array of picture elements (12), which are driven by sequentially addressing repetition lines in each successive field according to arriving video signals, the diffuse amount perceived by a person looking at the moving image is reduced by emphasizing the motion components of the displayed image according to its moving velocity by processing of the video signals. A single velocity-dependent high-spatial-frequency enhancing filter circuit (40) acts upon the video signal to generate an enhancing signal, which is added to the panel (10). This enhancement is performed so as to compensate the low pass action which is dependent on the velocity of the eyes of a person looking at the picture.



「戻る表示」 「抄録一括ダウンロード(オプション機能)」 「図ヘルプ」

「HTML明細書表示」 画像追跡装置

【公開】特開2000-123182(P2000-123182A) 平成12年4月28日(2000. 4. 28)

【国際特許分類第7版】G06T 7/20 H04N 5/232 7/18

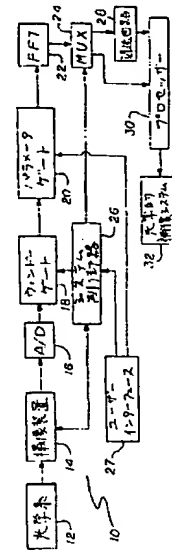
【審査請求】有【請求項の数】48【全頁数】10

【出願】特願平3-800031 平成3年11月15日(1991. 11. 15)

【出願人】レイセオン・カンパニー【発明者】エルオゾール・ブローグ

【目的】x及びy方向に素子のアレイを有する画像検知器(12, 14)に使用される画像運動追跡装置(10)を提供する。

【構成】まず、画像の周波数領域表示を形成して、画像データの基準フレーム及び画像データの入力フレームを得る。プロセッサ30によって、入力フレームの対応する第1及び第2のサンプルに対する基準フレームの第1及び第2のサンプルに関する検知器(12, 14)の位相変化を検出し、基準フレームの少なくとも一部分に対する入力フレームの少なくとも一部分の変位を識別する。最終的に、基準フレームに対する入力フレームの変位を補償するために出力信号を補正する。



「HTML明細書表示」 立体画像—物体検出方法

【公開】特開平10-124683 平成10年(1998)5月15日

【国際特許分類第6版】G06T 7/00 G01B 11/00 G06T 7/20

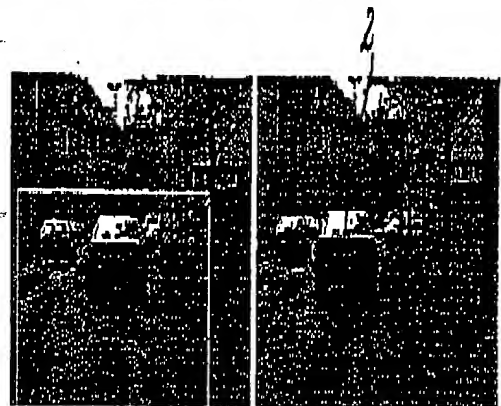
【審査請求】有【請求項の数】8【全頁数】7

【出願】特願平9-277885 平成9年(1997)9月4日

【出願人】ダイムラー・ベンツ・アクチエンゲゼルシャフト【発明者】ウヴェ・フランケ

【目的】比較的簡単な周辺条件で特定の使用事例に特に適し、比較的効率的で強固な立体画像—物体検出方法を提供する。

【構成】立体画像の評価により物体を検出しかつ場合によってはその運動を追跡する方法において、それぞれ撮影される立体画像対から構造クラス画像対が形成され、各画素のために、選ばれた周囲画素の輝度差がデジタル値として求められ、これらのデジタル値がそれぞれのデジタル値群にまとめられ、それぞれ一致する群が固有の構造クラスを定義する。外極線に沿って輝度のない構造クラスは退けられる。他の構造クラスの画素のために、対応するデイスパリティ値が求められ、与えられた頻度増分でデイスパリティヒストグラムに累算される。ヒストグラムのそれぞれの集積点範囲に属する画素群は、その時、検出すべき物体と解釈される。



「HTML明細書表示」 マトリクス型映像表示システムとその動作方法

【公開】特開平7-199856 平成7年(1995)8月4日

【国際特許分類第6版】G09G 3/20 G02F 1/133 G09G 3/36 H04N 5/66

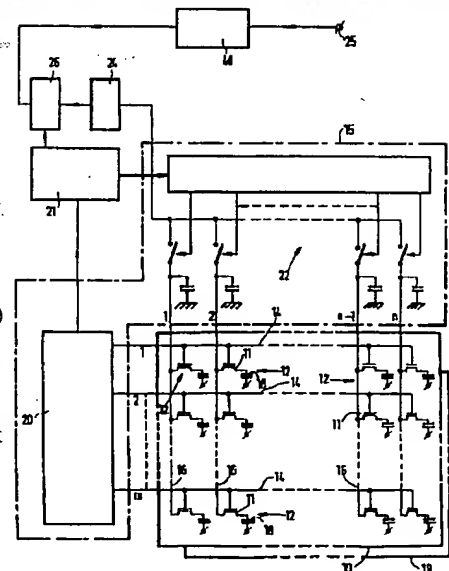
【審査請求】未請求【請求項の数】7【全頁数】9

【出願】特願平6-306433 平成6年(1994)12月9日

【出願人】フィリップス エレクトロニクス ネムローゼ フェンノートシャップ【発明者】ステファン ビットザキディス

【目的】マトリクス型映像表示システムとその動作方法の開示

【構成】能動型マトリクス液晶表示パネル等の時間持続型の表示パネル(10)を用い、行列形式の画素配列(12)を有し、これら画素は、到来する映像信号に従って、引き続き各フィールドごとに順次繰り返し行にアドレスすることにより駆動される(15)ような種類の、動画例えばテレビの画像を表示するマトリクス型映像表示システムにおいて、動画像を見る人の知覚するぼやけの量は、映像信号の処理により表示画像の運動成分をその速度に応じて強調することによって減少する。1個の速度依存型高域空間周波数強調フィルタ回路(40)が、映像信号に作用して強調信号を生成し、それがパネル(10)に加えられる。この強調は見人の目の、速度に依存した低域通過作用を補償するように行なわれる。

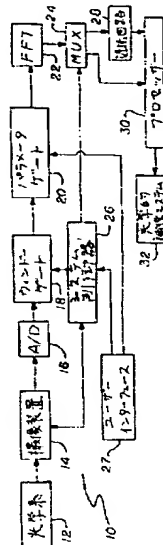


「戻り表示」 「抄録一括ダウンロード(オプション機能)」 「図ヘルプ」

「HTML明細書表示」 画像追跡装置

【公開】特開2000-123182(P2000-123182A) 平成12年4月28日(2000. 4. 28)
 【国際特許分類第7版】G06T 7/20 H04N 5/232 7/18
 【審査請求】有【請求項の数】48【全頁数】10
 【出願】特願平3-800031 平成3年11月15日(1991. 11. 15)
 【出願人】レイセオン・カンパニー【発明者】エルオゾール・ブローグ

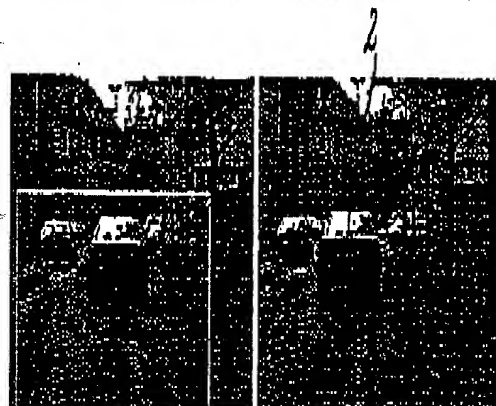
【目的】x及びy方向に素子のアレイを有する画像検知器(12, 14)に使用される画像運動追跡装置(10)を提供する。
 【構成】まず、画像の周波数領域表示を形成して、画像データの基準フレーム及び画像データの入力フレームを得る。プロセッサ30によって、入力フレームの対応する第1及び第2のサンプルに対する基準フレームの第1及び第2のサンプルに関する検知器(12, 14)の位相変化を検知し、基準フレームの少なくとも一部分に対する入力フレームの少なくとも一部分の変位を識別する。最終的に、基準フレームに対する入力フレームの変位を補償するために出力信号を補正する。



「HTML明細書表示」 立体画像-物体検出方法

【公開】特開平10-124683 平成10年(1998)5月15日
 【国際特許分類第6版】G06T 7/00 G01B 11/00 G06T 7/20
 【審査請求】有【請求項の数】8【全頁数】7
 【出願】特願平9-277885 平成9年(1997)9月4日
 【出願人】ダイムラー・ベンツ・アクチエンゲゼルシャフト【発明者】ウエ・フランク

【目的】比較的簡単な周辺条件で特定の使用事例に特に適し、比較的効率的で強固な立体画像-物体検出方法を提供する。
 【構成】立体画像の評価により物体を検出しかつ場合によってはその運動を追跡する方法において、それぞれ撮影される立体画像対から構造クラス画像対が形成され、各画素のために、選ばれた周囲画素の輝度差がデジタル値として求められ、これらのデジタル値がそれぞれのデジタル値群にまとめられ、それぞれ一致する群が固有の構造クラスを定義する。外極線に沿って輝度の低い構造クラスは退けられる。他の構造クラスの画素のために、対応するディスプレイ値が求められ、与えられた頻度増分でディスプレイヒストグラムに累算される。ヒストグラムのそれぞれの集積点範囲に属する画素群は、その時、検出すべき物体と解釈される。



「HTML明細書表示」 マトリクス型映像表示システムとその動作方法

【公開】特開平7-199856 平成7年(1995)8月4日
 【国際特許分類第6版】G09G 3/20 G02F 1/133 G09G 3/36 H04N 5/66
 【審査請求】未請求【請求項の数】7【全頁数】9
 【出願】特願平6-306433 平成6年(1994)12月9日
 【出願人】フィリップス エレクトロニクス ネムローゼ フェンノートシャップ【発明者】ステファン ビットザキディス

【目的】マトリクス型映像表示システムとその動作方法の開示
 【構成】能動型マトリクス液晶表示パネル等の時間持続型の表示パネル(10)を用い、行列形式の画素配列(12)を有し、これら画素は、到来する映像信号に従って、引き続き各フィールドごとに順次繰返し行にアドレスすることにより駆動される(15)ような種類の、動画像例えばテレビの画像を表示するマトリクス型映像表示システムにおいて、動画像を見る人の知覚するぼやけの量は、映像信号の処理により表示画像の運動成分をその速度に応じて強調することによって減少する。1個の速度依存型高域空間周波数強調フィルタ回路(40)が、映像信号に作用して強調信号を生成し、それがパネル(10)に加えられる。この強調は見る人の目の、速度に依存した低域通過作用を補償するように行なわれる。

